

科目ナンバー	SEM-3-003-ky			科目名	課題演習I (本多)		
教員名	本多 正直			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	『何かをつくりだすこと』その経過や結果から、人は多くのことを学びさまざまなものを得てきた。単に知識や技術の伝達をするのではなく、文化遺産を、陶治材料として用いながらも、学習者個の潜在する様な人間的能力を引き出し、「人間としての全体的な構成を目的とする」ことこそが芸術による教育である。このゼミでは、美術教育と芸術の様な表現活動や分野別の技法など、多方面から《芸術による教育》《芸術の教育》について考えてみたいと思う。また群馬の方言かるたプロジェクトをはじめ社会人力の育成につながる研究にも取り組みたい。美術教育には不可欠な実技に対する知識と表現技術を学ぶために素材ごとに課題作品を制作する。また作家についての調べ学習では、作品制作の背景なども含めて表現とは何かについて考える機会を持つ。						
到達目標	図画工作教育の範囲にとどまらず、さまざまな造形活動や作品に触れ、素材について研究し実際に制作することで、造り出す喜びや作品のよさを理解できる力を身につけて欲しい。また、自らの表現方法を見出し、4年生の卒業研究につながる素材研究を進められる力を身につけたい。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	○
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力	○	実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	創作活動の演習や研究方法について学び、作品鑑賞、素材や作家に関する研究発表、討論等を行う。課題制作ごとに自らの課題解決をの目標を明らかにして臨むことを意識する。小学校の児童への指導計画や実践のために、イメージし問題を提示して解決しながら進めていく。課題ごとに振り返りを行い、次の課題に活かせるような取り組み方を考える。						
アクティブラーニング		○	サービスラーニング		○	課題解決型学修	○
受講条件 前提科目	基礎演習I・IIの単位が取得済みであること。物を作ることに興味を持っている人。						
アセスメントポリシー及び評価方法	平常点(ゼミ参画の積極性)、取り組み姿勢50%、レポート・発表50%(作品も含む) 「共愛12の力」分析し思考する、構想し実行する、実践的スキルを特に評価の対象とする。						
教材	プリントを配布する。粘土、画用紙、画材等その他(研究素材)						
参考図書	授業の中で紹介する。						

内容・スケジュール	<p>1 内容説明オリエンテーション 陶芸の素材について調べてくる(素材ごとに担当者を決め1名ずつ次回発表を行う。) 各素材の特徴や性質を知ってから制作に取り組めるように調べ学習をする。2.00</p> <p>2 表現素材に対する知識とその研究(テラコッタ、陶芸) ろくろ成形について調べてくる(素材ごとに担当者を決め1名ずつ次回発表を行う。) 各素材の特徴や性質を知ってから制作に取り組めるように調べ学習をする。2.00</p> <p>3 テラコッタ、陶芸による造形演習 ろくろによる成形についての発表 実技演習 各素材の特徴や性質を知ってから制作に取り組めるように調べ学習をする。2.00</p> <p>4 テラコッタ、陶芸による造形演習 ろくろによる削り成形 実技演習 素材の特性を学んだ経験からその素材によって自ら表現したい作品を制作する。2.00</p> <p>5 《芸術による教育》についての研究。(こどもの表現等) 作品の鑑賞(美術館) 作品から見るこどもの表現、作家の表現 美術館において鑑賞した作品とその内容についてまとめる。2.00</p> <p>6 石膏の技法研究 テラコッタ、陶芸による造形演習 施釉 デッサンについて調べてくる(素材ごとに担当者を決め1名ずつ次回発表を行う。) テラコッタ作品の素材に対する表現方法を基に、仕上げの工程を行う。また陶芸作品に関しては施釉の方法をまとめる。次回の発表者はデッサンについて調べてくる。2.00</p> <p>7 絵画の技法 クロッキー等 デッサン 絵画技法アクリル画について調べてくる(素材ごとに担当者を決め1名ずつ次回発表を行う。) デッサンの基礎技法を学び表現したことを基に、スケッチブックにデッサン、クロッキーの練習をする。 次回の発表者はアクリル画について調べてくる。2.00</p> <p>8 絵画の技法演習 油彩画、アクリル画等 絵画の技法(版画の技法研究)</p>					
-----------	--	--	--	--	--	--

授業で学んだアクリル画の技法を基に模写の続きを行う。2.00
 9 絵画の技法演習 油彩画、アクリル画等 絵画の技法(版画の技法研究)
 絵画技法 油彩画について調べてくる(素材ごとに担当者を決め1名ずつ次回発表を行う。)
 授業で学んだアクリル画の技法を基に模写の続きを行う。2.00
 10 絵画の技法演習 油彩画、アクリル画等 絵画の技法(版画の技法研究)
 授業で学んだアクリル画の技法を基に模写の続きを行う。2.00
 11 絵画の技法演習 油彩画、アクリル画等 絵画の技法(版画の技法研究)

授業で学んだアクリル画の技法を基に模写の続きを行う。2.00
 12 作家についての研究 調べ研究
 画集や文献等により作家について調べ、資料と発表の準備を行う。
 作家の作品や制作環境について調べる。2.00
 13 作家についての研究 調べ研究
 画集や文献等により作家について調べ、資料と発表の準備を行う。
 作家の作品や制作環境について調べる。2.00
 14 作家についての研究発表
 作家の作品や制作環境について発表した内容をまとめる。次回発表者は画集や文献等により作家につ
 いて調べ、資料と発表の準備を行う。2.00
 15 作家についての研究発表 まとめ
 前期の授業のまとめを行う。2.00

Number	SEM-3-003-ky	Subject	Junior Specialty Seminar I		
Name	本多 正直 (Honda Masanao)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>"Creating something" From the process and results, people have learned a lot and got various things. Rather than merely communicating knowledge and technology, while using cultural heritage as a ceramic material, it draws out human capabilities such as the latent potential of learners and "aims at the overall composition as a human being" It is education by art. In this seminar, I would like to think about "education by art" and "art education" from various viewpoints, such as artistic education and artistic expression activities and field-specific techniques. We also want to tackle research that leads to the development of social human resources including the dialect Karuta project of Gumma. In order to learn knowledge and expressive skills for practical skills indispensable to art education, create work pieces for each material. In the study learning about writers, we also have the opportunity to think about what expressions are, including the background of work creation.</p>				